

57 聞いてきました みんなの広場



今回は「横樽音頭保存会」を石内副委員長が取材しました

伝統を守る 横樽音頭保存会

八木節の源流とも言われる「横樽音頭」

よこだるおんど「横樽音頭」の由来は？

南玉の住吉神社の宵祭りでは、氏子たちが酒宴を開き、一晩中歌ったり踊ったりして夜を明かす「おこもり」という行事があり、そのとき飲み干した空の四斗樽を横にしてたたいたのが始まりと言われています。樽を横にして演奏する珍しい形を持つことから、「横



樽音頭」と名づけられました。江戸末期から約150年続く伝統と歴史のある文化財で、昭和46年に玉村町の重要無形民俗文化財に指定されています。

現在の活動状況は？

住吉神社の大祭前夜の宵祭り(10月16日)で奉納するほか、賀詞交歓会・地区納涼祭・芸能発表会や茶話会など年4、5回の町内行事にも出演しています。8月31日の東毛広域幹線道路(玉村伊勢崎バイパス)開通式でも、4日間の練習を重ね披露しました。

保存会のメンバーは、現在20人(男性7人・女性13人)。出前要請にも積極的に取り組んでいます。

横樽音頭の特徴

横樽音頭は、盆踊唄または祝唄系の音頭で、酒樽・すり鉦・笛と楽器を持たない音頭取りと踊り子で構成されています。演目には「国定忠治」などがあります。

樽を横にしてたたいて調子をとります。その横樽のたたき方(打点の多さ)とバチさばきで、音と旋律が哀調帯びたおはやしとなっています。

- はやし…… 音頭取り
樽
すり鉦
笛
- 踊り…… 手踊1・2
手拭踊
四ツ竹
- 歌詞…… 国定忠治 ほか

活動に対するお問い合わせ

会長 原 秀夫まで
(TEL.0270-65-4305)

こちら編集室

議会初日の9月3日、役場へ向かう途中ふと見ると、稲の穂か始めている。最終日の9月12日にはほとんど出そろっており、これから10月に刈り取りの時期を迎えます。6月議会後に田植えをしたことを思い出し、季節の移り変わりの早さを感じました。

来春、玉村町の情報や魅力を発信する場所として、スマートIC東側にたまむら道の駅(仮称)がオープンします。議会としても、これらの変化をチャンスと捉え、町の発展につながるよう提言していきたいと考えます。これからも、「議会だより」を通じて、議会の情報や町の動きを皆様にお伝えしていきますので、今後ともご愛読をお願いいたします。(渡辺 俊彦)

たまむら議会山柳

道開き にぎわら町に 実りあり

(録み人 おくと)

- 議会広報特別委員会
- 委員長 高橋茂樹
 - 副委員長 石内國雄
 - 委員 原秀夫
 - 委員 渡辺俊彦
 - 委員 笠原孝
 - 委員 島田浩一
 - 委員 柳澤浩一

次回定例会の予定

12月3日 開会予定です

本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます

9月議会の傍聴者は**78人**でした。(男性：54人・女性24人)

